

背景

富士宮市－世界遺産・富士山の恵みによって発展してきたまち－
雄大な自然、美しい景観、富士山本宮浅間大社を中心とした歴史・文化、豊富な水資源、食資源
先人たちから受け継いだ地域資源を守り、磨き上げ、後世に残したい



現状の課題

- ・人口減少により、富士山麓の地域を守る担い手の不足
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う観光客の減少
- ・富士山の自然環境の保全と活用のバランス

事業の目的

地域の歴史・文化の伝承／自然環境の保全／魅力的なまちづくりによる未来の担い手の確保 など
持続可能なまちづくり「富士山SDGs」

これまでの取組

- ・世界遺産にふさわしいまちづくり、文化財の保存（世界遺産・構成資産の施設整備など）
- ・富士山学習の実施（富士山学習を推進することで、「富士山のあるまち」に対する郷土愛を育む）
- ・ゼロカーボンシティ宣言



事業内容

▲富士山の恵みの保全と活用

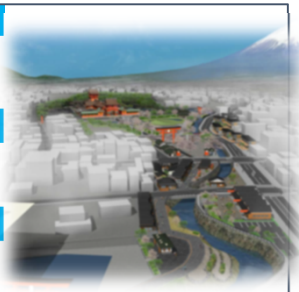
- ・富士山の特色を生かしたエコツーリズムなど、持続可能な観光や富士登山の推進
- ・世界遺産のまちづくり推進、文化財の保存・管理
- ・市民協働による環境保全と小水力発電等のエネルギーの有効利用の推進 など

▲富士山のファン開拓による移住定住の促進・産業の創出

- ・富士宮版ワーケーションやキャンプ等、地域資源を生かした関係人口の創出、移住定住の促進
- ・商工会議所や地元金融機関と連携した中小企業や創業・起業家に対する総合支援

▲郷土愛の醸成による持続可能な社会の担い手育成

- ・アース・キッズ事業（小学生が取り組む地球温暖化防止についての学習等の支援）
- ・富士山学習 郷土愛の醸成やESD（持続可能な社会の担い手）の育成 など



得られる成果等



成果・目標

富士山の恵みを生かした持続可能なまちづくり－富士山SDGs－の達成

- 富士山のふもとに未来の担い手を繋ぎ止めるとともに、新たな創り手が集い、地域がつながるまち
- 富士山の豊かな自然とさまざまな産業が調和したまち

2021年5月
SDGs未来
都市選定

“共有財産”富士山の自然環境が良好に保全できるよう、人と人、企業と企業、都市部と郊外集落との交流により、地域資源を生かした新しいアイデアや連携を生み出し、地域経済を活性化させることで、あらゆる人や世代が活躍できるまちを実現

寄附をするメリット等

企業の皆様におけるメリット

- ・SDGsやESGに関する取組の実績に！
- ・世界遺産「富士山」の保全を通じたCSR活動の実績に！
- ・地元企業や地域人との新たなパートナーシップの構築
- ・地域資源を生かした新たな事業展開の可能性

企業の皆様をお願いしたいこと

- ・企業版ふるさと納税によるまちづくりへのご支援
- ・SDGs/CSRパートナー企業としての地域参画

企業様との連携イメージ

- ・富士山の自然環境を生かしたエコツーリズムやワーケーション等、関係人口創出のための取組に関する企画立案
- ・環境保全や活用に関して企業様が有するノウハウの提供や助言
- ・寄附企業様との取組を広くPR

連絡先

富士宮市役所 企画戦略課 地域政策推進室
TEL：0544-22-1215
E-Mail：kikaku@city.fujinomiya.lg.jp